

検討の観点（「新編古典探究」2東書 古探 701）

項目	観点	特色・具体例
1	内容の選択・程度	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統的な言語文化への理解を深め、古典を読む能力を基礎から発展へと充実させるために適した教材が、さまざまな時代・ジャンルからバランスよく採録されている。 ○各教材末の手引きや、脚間が充実しており、教材に即して、基礎的・基本的事項をおさえながら学習ができる。本文下欄には、脚注・古文重要語句・助字句法を適宜掲げるなど、教材の理解を促す工夫がなされている。また、古文編・漢文編の各導入単元は、基礎・基本の確認にふさわしい内容である。 ○コラムや巻末資料が適切に用意されており、古典についての理解や関心を深めることができるように配慮されている。
2	組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> * 内容の組織・配列は、学習指導を有効にすすめられるように考慮されているか。 * 分量は学習指導を有効に進められるように考慮され、精選されているか。 * 弾力的な取り扱いに対する配慮がなされているか。 <ul style="list-style-type: none"> ○二部構成をとっており、段階を踏んで学習を進められる。全体の教材配列順序は、易から難へと学習を進められるよう、配慮されたものになっている。 ○古文編・漢文編とも、長短織り交ぜつつ、親しみやすい教材を中心に精選して構成されており、生徒の学ぶ意欲を高め、国語の力がつくよう工夫されている。分量も適切である。 ○教科書教材に関連した参考資料が効果的に配置されており（p32, 167, 217, 224, 240, 270, 274 など）、生徒の実態に応じて弾力的に学習を深めるための配慮がなされている。
3	表記・表現及び指導に対する工夫や配慮	<ul style="list-style-type: none"> * 学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 * 用語・記号の取り上げ方や記述の仕方は適切か。 * 生徒の自学自習への配慮がなされているか。 * 指導書や周辺教材での工夫や配慮がなされているか。 <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の興味を喚起し、教材の理解を促す点から効果的な資料性の高いカラー写真・図版が教材中や単元扉に適切に掲載されている。 ○コラム「古文の窓」「漢文の窓」や、「ご当地キャラクターと古典」、「『源氏物語』—現代語訳の世界」は、学習内容と関連して古典の世界に対する理解を深められる内容となっている。 ○巻末の「古典参考図録」は極めて資料性が高く、生徒の古典に対する学習意欲が高められるように工夫されている。 ○用語・記号は統一されており、記述の仕方も適切である。 ○巻末には「古文重要語句」「漢文句法・重要語のまとめ」などの附録が用意されており、生徒の自学自習に役立つ。 ○教科書を支援する指導書や周辺教材などが充実しており、指導しやすく学習しやすい教科書である。
4	印刷・造本上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> * 印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か。 * 環境保全や生徒の多様な特性に配慮がなされているか。 <ul style="list-style-type: none"> ○見やすい字詰め・行数で、活字は鮮明で美しい。写真、図版も鮮明で効果的である。 ○製本は堅牢である。 ○図の色使いなどは、色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインとなっており、全ページにわたって配色が工夫されており、見やすい紙面になっている。 ○本文の用紙には再生紙と植物油インキが使用されており、地球環境や資源に及ぼす影響も考慮されている。
5	総合所見	<ul style="list-style-type: none"> * 上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ○さまざまなジャンルから長短のバランスのとれた古文・漢文教材を採録し、古典に親しみ学習を助ける豊富な資料が用意されている。全体的に学習指導要領の示す内容を具体化するのにふさわしい教科書である。